

# 心をよつめる

その二十一

北九州市内・近郊の寺院の僧侶にお言葉をいただくコーナーです。老後を心豊かに生きるためのヒントとなりますように・・・。

## 安らぎの歌

皆さん御詠歌という音楽をご存じて  
でしょうか？

キリスト教で言えば賛美歌のようなもので、仏教ですらから仏さまを称える賛  
仏歌です。

御詠歌とは、五七五七七の三十一文字の和歌や、歌詞が七五調や五七調になっていて和讃があり、歌詞に込められた、仏さまの教え、生きていく楽しさを、生かされている尊さを、旋律に乗せてお唱えする事によって自然と「手を合わせ、声を合わせ、心を合わせる」事ができます。唱える人のご詠歌がひとつになった立派な仏道修行と言えるでしょう。

ご詠歌の起こりは、その昔、霊場をお参りする際に唱えた「巡礼歌」にあると言われてます。旋律は唱える人にも、聞く人にも、双方に心の癒しをもたらすとして昔から多くの人々に



よって受け継がれてきました。

娯楽のあまり無かった時代は、檀信徒さんがお寺の行事の度に集まって唱えたり、寒空の下白い息を吐きながら同行と共に御詠歌を唱え、その後食事をした茶話をする楽しみがありましたが、今は楽しみが多様化し、唱える方々の高齢化が進みお唱えする人も随分減りました。

小さい頃から、お寺で何となく聞いていた御詠歌でしたが、あるきっかけから御詠歌を勉強することになり、さらに御詠歌を知ってもらおうと公演活動をしている九州詠歌青年会に参加することに、今まで聞いたことがなかった方々に聞いていただく機会ができました。有り難いことに、公演を観たきっかけに御詠歌に興味を持っていただき、さらに公演で配られたCDを聴いて覚えていただき、お寺の行事、



高野山真言宗 大蔵院  
大江 一正 副住職

「公演のPR動画がYouTubeにUPされています『九州詠歌青年会』で検索してみてください」

葬儀や法事の時に一緒に唱えていただくようになりました。

弘法大師さまは「一々の声字に真心を込めればそれは金色に光を放つ仏さまになる」とおしめしになっておられます。「声」は生命の調べであり、生ける心の旋律であります。人はそれを実感した時に感動すると。

コロナ感染症の大流行により、世界中でその脅威に恐れと不安に暮れる日々が続いております。それまでの当たり前の生活がいかに有り難い事であったのか気づかせてもらうこととなりました。

いつの世も悩みや迷いというものはありません。ものが豊かになり便利になったことで、新たな不安が生じる。その様な事もあるのかもしれない。その様な時に、ご詠歌の旋律と優しい言葉の響きが少しでも皆様の心の安らぎとして頂けたら幸いです。

御詠歌コンサート 阿字の道 eternal

日時 令和4年11月26日(土) 12:00開場/13:00開演  
場所 長崎ブリックホール大ホール 長崎市茂里町2-38 095-842-2002  
料金 1階席 2階席ともに 3,000円

チケット販売受付 TEL 090-4968-7676



大蔵院  
門司区田野浦 1-14-16  
TEL 093-321-7918

YouTubeで、「九州詠歌青年会」や「高野山真言宗 動画館 御詠歌」で検索していただければ沢山の御詠歌を聴く事ができます。  
11月26日に長崎市ブリックホールにて御詠歌の公演を行います。  
実際に会場で大勢の僧侶が合わせた声と、澄み切った鈴鉦の響きが人々に癒しを与えます。遠方ではありますが、ぜひ会場にお運び頂き、ご詠歌を通して仏様の響をお感じください。